

2020 東京オリンピック・パラリンピック 郡山市アクション&レガシープラン



2020 東京オリンピック・パラリンピック
関連事業等郡山市推進会議

一目次一

第1章 計画の基本方針 ······	1
1 策定の趣旨 ······	1
2 東京 2020 大会ビジョンの共有 ······	1
3 基本コンセプト ······	2
4 基本目標（創出するレガシー） ······	2
5 計画の期間 ······	2
第2章 アクション ······	3
1 共通の取り組み ······	3
2 基本目標 スポーツ振興 ······	4
3 基本目標 観光振興 ······	5
4 基本目標 まちづくり推進 ······	6
第3章 推進体制 ······	8
第4章 関係機関との連携 ······	9

第1章 計画の基本方針

1 策定の趣旨

東日本大震災からの復興支援に対する世界の皆様への感謝の意を込めて 2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会の成功に貢献するとともに、オリンピック・パラリンピック出場選手や交流国との末永い交流を図ることにより、2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を契機として、本市のスポーツ振興、観光振興及び将来へのまちづくりを推進するため、オール郡山体制で取り組む「アクション」を示すとともに、その成果を未来へ継承（レガシー）する。

なお、本プランは、「東京 2020 アクション&レガシープラン 2016（東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会）」及び「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会復興推進ふくしまアクションプラン（福島県）」との整合を図りながら策定する。

2 東京 2020 大会ビジョンの共有

2015 年 2 月に決定された 2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会のビジョンに沿って、本プランのアクションを推進する。

Tokyo 2020 Vision

スポーツには、世界と未来を変える力がある。
1964 年の東京大会は日本を大きく変えた。
2020 年の東京大会は
すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）
一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）
そして、未来につなげよう（未来への継承）
を 3 つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで
世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

3 基本コンセプト

開拓者精神が息づく「郡山」がレガシーを創出、世界に発信し、未来に拓く

4 基本目標（創出するレガシー）

（1）スポーツ振興

- ① スポーツ参画社会の実現
- ② 健康づくりの推進
- ③ スポーツ競技力の向上

（2）観光振興

- ① 国際交流の促進
- ② 日本遺産をはじめ観光資源及び地元產品の世界発信
- ③ 交流人口の増加及び経済効果

（3）まちづくり推進

- ① 安全・安心で持続可能な都市の実現
- ② I C T基盤の整備（スマートフォン環境の整備）
- ③ 市民総参加のまちづくり

5 計画の期間

2017年4月1日から2021年3月31日まで

計画期間は、2017年4月1日から2021年3月31日の4年間とする。

第2章 アクション

1 共通の取り組み（基本目標を達成するための横断的なアクション）

（1）参画（多くの市民や団体が東京 2020 大会に参加）

- ① 東京 2020 公認プログラム（対象：東京 2020 大会エンブレムの使用可能な団体・組織）のアクションへの参画を促進する。
- ② 東京 2020 応援プログラム（対象：全国の自治体や非営利団体）の認定アクションを創出し、大会の機運醸成を図る。

【アクション例】

- ・東京 2020 参画プログラム（東京 2020 公認プログラム及び東京 2020 応援プログラム）のアクションに付与される大会公式のマーク（公認マーク、応援マーク）を活用し、イベントを盛り上げることにより、アクションへの参画を促進する。
- ・東京 2020 公認プログラム（オールジャパン・世界への発信）の小・中学校スター募集事業に行健中学校が参加した。

（2）ホストタウン交流（内閣官房が認める東京 2020 大会参加国との交流）

- ① 東京 2020 大会参加国との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、地域の活性化等を図る。

（3）パラリンピックの推進

- ① パラリンピックを通して、障がい者の社会参加の促進や多様性の理解を推進する。

【アクション例】

- ・2016 年 4 月施行の障害者差別解消法の周知のため啓発活動を行う。
- ・パラリンピアンとの交流会を開催する。

(4) 2018年～2022年の間の大規模大会との連携

- ① オリンピック・パラリンピック(2018年平昌・2020年東京・2022年北京)、日本でのラグビーワールドカップ 2019、関西ワールドマスターズゲームズ 2021) といった世界的な大規模スポーツ大会との連携を図る。

«5大会の概要（予定）»

年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
名称	平昌オリンピック パラリンピック	ラグビーワールド カップ2019	東京オリンピック パラリンピック	関西ワールド マスターズゲームズ 2021	北京オリンピック パラリンピック
開催国 都市	韓国・平昌	日本	日本・東京	日本・関西	中国・北京
期間	2/9～2/25 (オリンピック) 3/9～3/18 (パラリンピック)	9/20～11/2	7/24～8/9 (オリンピック) 8/25～9/6 (パラリンピック)	5/15～5/30	2/4～2/20 (オリンピック) 3/4～3/13 (パラリンピック)
日数	27日	43日	30日	16日	27日
出場国数	90カ国・地域	20カ国	204カ国・地域	150カ国・地域	90カ国・地域

2 基本目標 スポーツ振興

(1) スポーツ参画社会の実現

- ① 「一地域ースポーツ運動（仮称）」等によるスポーツ実施率向上に向けた取り組みの推進
- ② パラリンピック競技や障がい者スポーツの魅力を多角的に発信、体験機会の提供

【アクション例】

- ・郡山シティーマラソン大会、郡山市民体育祭、郡山市民スポーツ・レクリエーション祭、市民スポーツ教室、障がい者スポーツ教室、ふれあいピック等の周知を図り、参加を促進する。

(2) 健康づくりの推進

- ① 健康維持を支える環境整備
- ② 高齢者スポーツの普及
- ③ 子供の運動機会の増加
- ④ 受動喫煙防止の環境づくりの推進

【アクション例】

- ・ラジオ体操の普及促進
- ・高齢者スポーツ大会、ゲートボール大会の開催

(3) スポーツ競技力の向上

- ① トップアスリートの養成
- ② スポーツ施設の充実
- ③ 追加競技種目・事前キャンプの誘致

3 基本目標 観光振興

(1) 国際交流の促進

- ① ホストタウンの推進
- ② 外国人アスリート等の学校への派遣

【アクション例】

- ・交流コンサートの開催
- ・大使館関係者による講演会、交流国のパネル展の開催
- ・国際交流員による出前講座、文化イベントの開催

(2) 日本遺産をはじめ観光資源及び地元産品の世界発信

- ① 日本遺産プロモーション
- ② 伝統文化・伝統芸能の発信
- ③ 観光資源の発掘、整備、商品化、情報発信

(3) 交流人口の増加及び経済効果

- ① 多言語ガイドブックの作成
- ② インバウンド観光推進
- ③ 観光映像アーカイブ構築発信

4 基本目標 まちづくり推進

(1) 安全・安心で持続可能な都市の実現

- ① セーフコミュニティ認証取得に向けた取り組み
- ② ユニバーサルデザインの推進
- ③ 案内看板の多言語化
- ④ 再生可能エネルギーの推進

(2) I C T 基盤の整備（スマートフォン環境の充実）

- ① 交通・I C T 基盤の整備
- ② 音声認識・多言語対応ロボットによる接遇対応の普及拡大

【アクション例】

- ・無料 Wi-Fi 環境を整備し、来訪者へブロードバンドサービスを提供するとともに、災害時にはライフラインとしての活用を図る。

(3) 市民総参加のまちづくり

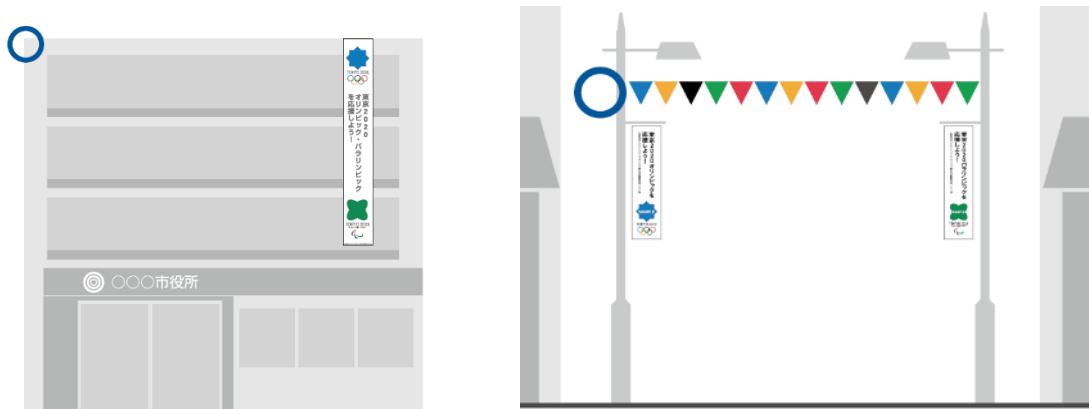
- ① オール郡山で国内、海外からのゲストを心からお迎えする
- ② スポーツボランティアの育成

【アクション例】

- ・学生や留学生等による「おもてなしボランティア」の編成
- ・協力店等にウェルカムボードの掲示
- ・交流国をイメージしたキャラクター、イラストの制作
- ・事前キャンプ参加選手の似顔絵提供
- ・多言語の郡山紹介M A N G A 冊子の制作
- ・スポーツマッサージの提供
- ・日本文化体験を目的とした和服・ゆかた記念撮影会開催、折り紙作成交流会の開催
- ・地元食材のオリジナルスイーツ開発提供
- ・学生によるウェルカムボードイベントの開催等

«東京オリンピック・パラリンピックの啓発イメージ»

【横断幕】



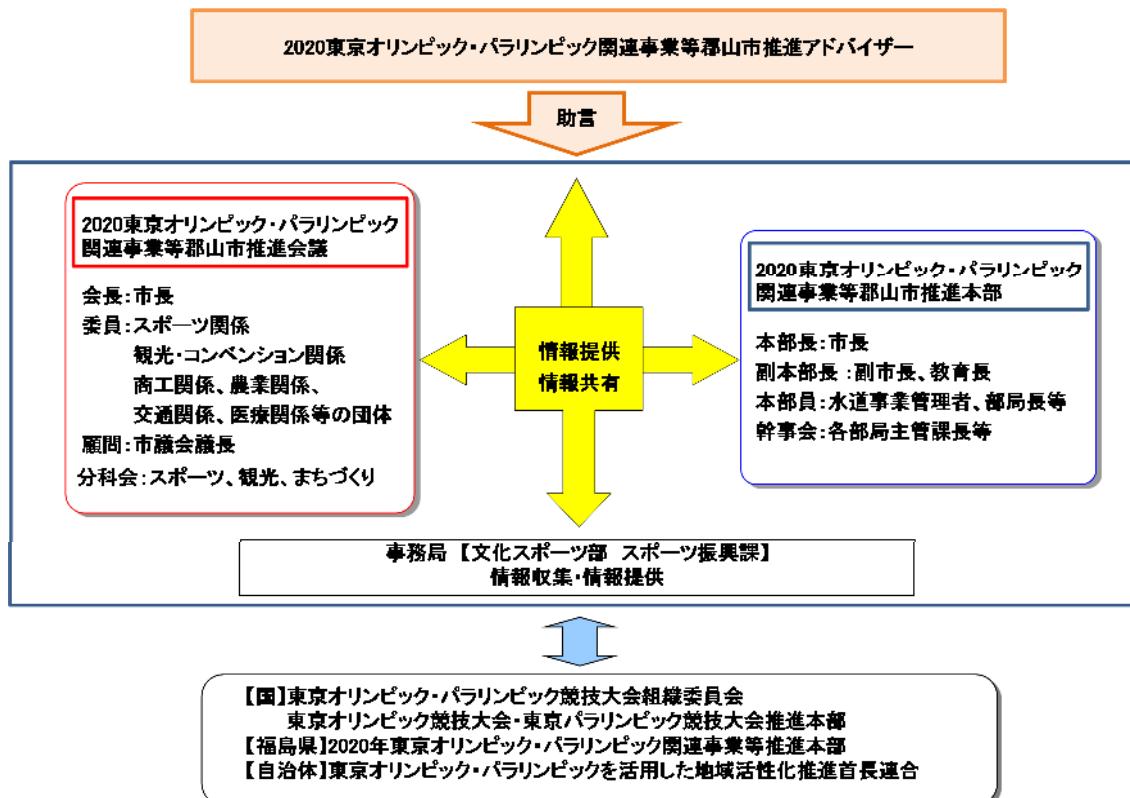
【フラッグツアー展示】



第3章 推進体制

計画の着実な推進を図るため、2020 東京オリンピック・パラリンピック関連事業等郡山市推進会議、2020 東京オリンピック・パラリンピック関連事業等郡山市推進本部及び 2020 東京オリンピック・パラリンピック関連事業等郡山市推進アドバイザーを設置し、推進体制を確立する。

なお、2020 年までに 2020 東京オリンピック・パラリンピック関連事業等郡山市推進会議及び 2020 東京オリンピック・パラリンピック関連事業等郡山市推進本部は、実行委員会の体制に移行する。



第4章 関係機関との連携

1 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 (国・東京都・日本オリンピック委員会等)

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が策定した「東京 2020 アクション&レガシープラン 2016」に基づき、東京オリンピック・パラリンピック関連事業を実施する国や東京都等の関係機関との連携を深めるとともに、郡山市に各種関連事業を誘致する。

2 2020 年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合

2020 年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合に正会員として加盟し全国の自治体との連盟を深めるとともに、新虎通り活用事業及びオリンピック・パラリンピック等経済界協議会との連携事業等の首長連合の活動に積極的に参加する。

3 福島県

福島県が策定した「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会復興推進ふくしまアクションプラン」との整合を図りながら、「2020 東京オリンピック・パラリンピック郡山市アクション&レガシープラン」を運用する。

4 日本遺産プロモーション協議会

日本遺産プロモーション協議会と連携を図りながら、「2020 東京オリンピック・パラリンピック郡山市アクション&レガシープラン」を運用する。



2020 東京オリンピック・パラリンピック
郡山市アクション&レガシープラン

2017年2月2日策定

2020 東京オリンピック・パラリンピック
関連事業等郡山市推進会議
(事務局: 郡山市文化スポーツ部スポーツ振興課)

〒963-8601 郡山市朝日一丁目 23 番 7 号
TEL : 024-924-3441
FAX : 024-935-7834
E-mail : sportsshinko@city.koriyama.fukushima.jp